

《各学年の特徴》

- 1年 登場人物の立場に立って、心情を考えている児童が多い。
- 2年 登場人物の思いを共感的に考えることができる児童が多いが、自分の経験を基に振り返ることについて、差が見られる。
- 3年 登場人物の思いを考えることができる。発問に対し、自分事として考えるようになってきているが、児童によって差がある。
- 4年 登場人物の心情を考えたり、話し合いを通して、自分の考えを深めたりすることができるが、自分事として捉えることができない児童もいる。
- 5年 自分の考えをもつことができるが、考えを積極的に表現したり、相手の考えを受け止めながらすすんで話し合ったりすることに、課題をもつ児童もいる。
- 6年 自他を客観的に捉えることができるようになってきているが、積極的に他者と関わろうとすることに差が見られる。

《道徳教育の目標》

- ・自他の生命を尊重し、人権尊重の心を培い、心身共に健康な生活をする。
- ・目標をもち、進んで物事に取り組み、粘り強くやり抜く。
- ・互いに助け合い、思いやりや男女平等の心をもつ。

育てたい力（課題）

- 1年 周囲の人と自分のことを考えて、生活しようとする心情。
- 2年 自分と関わりのある人に対し、優しい心で接しようとする心情。
- 3年 自分や友達の経験を基に話し合うことで、自分と異なる意見や立場を尊重する態度。
- 4年 自分や友達の経験を基に話し合い、考えを深めることで、自分と異なる意見や立場を尊重する態度。
- 5年 児童が多様な考えに触れ、自分と異なる意見や立場を尊重する態度。
- 6年 児童が多様な人々と触れ合い、自分と異なる意見や立場を理解し合おうとする態度。

☆授業改善の具体策☆

- ・紙芝居 ・影絵 ・人形劇 ・ペープサート ・ICT 機器の活用
- ・自由な思考を促したり、物事を多面的・多角的に捉えたりする発問の工夫
- ・グループ対話 ・ペア対話 ・役割演技 ・動作化 ・討議形式 ・ワークシート
- ・日常生活問題やメディアに関する説話

1年 重点項目 (A) 節度、節制

教材と日常生活とを結び付け、継続して指導し、具体的な場面を思い浮かべながら考えられるようにする。

2年 重点項目 (B) 親切・思いやり

教材や他教科等の活動、日常生活を結び付けて指導し、自分の行動を振り返ることができるようにする。

3年 重点項目 (B) 相互理解、寛容

自分の経験を振り返ることができるように、発問や問い返しを工夫して、自分事として捉えられるようにする。

4年 重点項目 (B) 相互理解、寛容

自分とは異なる考えがあることを受け入れる経験を積ませるために、教材を読み深め、様々な意見や立場があることに気付けるようにする。

5年 重点項目 (B) 相互理解、寛容

多様な考えに触れることで、自分と異なる意見や立場を尊重できるようにするために、ペアやグループ、討議形式での対話を取り入れる。

6年 重点項目 (B) 相互理解、寛容

普段あまり関わらない課題について、身近な問題として捉え、考えさせるために、日常生活問題やメディアの説話等、様々な教材を活用する。